はををしますか。 は「で」と、とね。 のをすると、こんなをきます。 「ってジェスチャーなんでしょう？」 「なんだよね？」 「、こえないはみんなできるんでしょう？」 「にそのままをいるだけだよね？」 そういったを。 ものもあれば、ものもあるんですね。 そこでにいただきたいがあります。 。これは、でされているのです。 にと、つもうしているので、 されていて、するのがです。 とアメリカでも、は。 、で「ありがとう」というは、こう。 これはの、おさんがときに をもらうときに、こうをね。 そのからきています。 、アメリカのでは "Thank you." というのは、 このように。 これはキッスですね。 がありがとうと、キッスでを。 これはやアクセント、そういったものではなくて、 にというものが、にですね。 というのは、そのからいるものなので、 のとように、その、そののに を。 、やでもはうんですね。 があるんです。 では「」というはこうやりますね。 これはハンコをしているわけです。 、ではというは、こう。 これはですね。 どちらもからされるだといます。 ハンコももそうですね。 しかし、どういったものをかというのは、 そのによってうわけですね。 「」というはが、に15あります。 トサカを、くちばし、あるいは、 すべてからきていますけれども、 それはまたようにくる、どののをのか、 それがわけですね。 このように、によってはだったりとか、 そもそもが、そういうことがあるんですね。 のが,,。 これはでをいるのです。 、というとほんとにのがちょこっとやっているだけじゃないかなといるとですけれども、 このというは、で28にである コロンビアのと、ですね。 アメリカでは、、、 にアメリカのがいるといわれています。 それくらいというのは、にいるが なんですね。 にですね、についてタイプがあるんですよ というです。 には、というものと、という 2つのがあるといわれています。 というのはとなくイメージつきますね。 にしているなんだなと。 じゃあ、にってだろうと。 つまり、というのはとはしていない なわけですね。がです。 えば、「をですか？」。 これはのですよね。 で、もつけました。 これがです。 、では、「、？」。 こういうになるんですね。 「？」といったがにきます。 これはもちろんのですけれども、 このようにがですね。 このはにありまして、 アメリカではアメリカのサインランゲージと、Pidgin Sign Englishというで、 ベースのと、がいがいる、ろうがいるというふうにカテゴリーが。 こういうふうに、も、のにはない というのもあるわけですね。 これからつのをします。 にしたら、に。 にしたから、に。 にしても、に。 にするために、にむ。 これらのつのはのでと、「」「」「」「」こののでですね。 じゃあ、どうしたらこのつののをのか。 それは「」と「」のでうなずく、なんですね。 、っていうと、でといてあるからだけてればいいんじゃないかなととですね。 はそうじゃないんです。の、あるいはの、の、これがのなんですね。 ジェスチャーではないんです。ちゃんととしてルールがあって、があって、それでというものがいます。 そういうでは、というのは、でとありますけれども、このこともがいいかもしれませんね。 アメリカ、ではサインランゲージ（sign language）、 すれば「の」ですね。 では（はわからないけれども）「」と、ということをします。 そういうではにはもうはである、ちゃんともあって、もあるんだということが、められています。 では、そういったをがいのたちは どういうをしているのか。 そういうたちにとってがどういうことをしているのか ということをしおさせていただきます。 、ちょっとしていただきたいのですけれども、 のでがいたらをしますか？ もちろんとうのですけれども、 はをね。 しかし、がいはがわけです。 つまりができないわけですね。 、ができない。 がいはがこえない、ができないために そういうことができないわけです。 そこでは、でのをしよう ということをやっています。 ですと、パソコン、いろいろSkypeですとか、 あとはタブレットPCとかをっていて、 このようなですぐにコールがかかってきます。 これ、、のにあるコールセンターに をかけました。 そうするとしているが、 （「はい、オペレーターです」）こういったできます。 これはリアルでしているです。 で、こういったに、 「からががですけれども、になって にとがなって、できますか？」 こういうでのをしてくれると。もちろんもできます。で、それをにもらう。 それもできるので、がいがで やもできるわけですね。 には、このサービスを、いろんな、 とかのデパートの、 そういったところにですとかしています。 は、というすごいなものをしましたけれども、もにって「のトレンド、ですか？」といった、 さんとする。 こういうものも、がいはできないわけですね。 に、とものをその場でをのは、もうとじゃないですか。 でも、はさんとをして、サイズいがあるかとか、こののがかというをしているわけですね。 そういう、がにやっていることが、らはできないので、そういったものをこういったサービスを しようということを、はしています。 ありました、にもラジオ、あるいはMP3といった、さらにですとSiri (iPhoneのサービス）。 こういったもの、がいにとってはわけですね。 こういったものをしていこうと、 はシュアールグループというをやっています。 このシュアールというは、よくシュワールとわれるのですが、シュアールなんですね。 というのも、の「ない」から、の「ある」をいこう、ということで、シュアールというにしています。 のミッションは、 「Tech for the Deaf－をのためにっていく」。 いまありましたタブレットPC、あるいはパソコン、Skype、そういったさまざまなを、して、 がいのをよりよくしていこう、 それがのミッションです。 じゃあ、なんでがこんなにこうのことについて いるのかと。 のは「あ、にいらっしゃったんですか？」とかあと「ごにいたんでしょうか？」とわれるんですけれども、 はまったくそうではないんですね。じゃあ、なんでか？ はから3までは カメラマンをしていました。 カメラマンになって、にいない、たくさんいるを、というにに。 それがののでした。そのためにアメリカにもをして、これはのジャーナリズムのクラスのメンバーですけれども、 こういったメンバーとにをとかをしていました。 しかし、アメリカからきてをしました。 ちょっとではやっていけないんじゃないかと、 のに、そこでのがサークルです。 にはでげたので、 というのもなんですけれども、 をやりたいなというに、 あとはがやりたいという、にとして。 サークルで、このラッキーだったことが。 ほんとにこれはですね。 をで、でさんので のコーラスをやるというをいただきました。 そこではに出るというなことをして、 にそこでことに。 それは、のがということです。 のニュース、です。 たまにはのドラマ、それもいいといます。 しかし、ニュースはしいものではないですし、のドラマだって、どちらかというとのがためのものですよね。 がいがものではありません。 はでを。ないんだったら やろうということで、としてそれを。 これはにボランティアですね。ボランティアとして のをそれをオンラインでする。 そういうボランティアをけていました。ここでがいとじゃないですけれども、 をにするで、いろんなにがつきます。 それこそ、ほどにあったような、、ができない、 またはとかでTOEICのスコアがない。 いわゆるリスニングができないわけですから、そのがない。それだけでされない。 にもなかなかみんなに、 そういったがあるというを、 そんなにながあるんだったら、 それはしなければならない、そういうふうに。 しかし、です。ができるのか。 すぐにわかりませんでした。いろいろえました。 、になってそのとかを かできるんじゃないか。 あるいはになってをえればいいじゃないか。 ビル・ゲイツみたいにになって、になって、 、すればいいんじゃないか。 あるいは、、あまりきれないかも しれませんけれども、 、いわゆるあるのに、 からそのをする。 あるいは、アントレプレナーになって、 そのをすると。 のにはどうみても、がに ですね。のつはかかりますよね。 からなるにはすごいがかかると。 そこではというを。 もともと、にになるぞ！と していたわけではなくて、 どちらかというとこのをするために、 いいとしてというをびました。 そこでできたのがシュアールグループです。 からもうやっています。 そこではこのというを、ビジネスという をもってする。そういったをいます。 からのメッセージとして、まずすること。 これがだと。 、にをはにありませんでした。 だからな、それくらいのでした。 でもそれでを、サークル、ボランティアを、そういうことでまずみることがになります。 そうすると、ににぶつかります。にぶつかったら、 そこでではなくて、する。 とにかくにぶつかっても、けること。 そうするとどんどんがくるんですね。 それはのチームにかもしれないし、チームのにいるかもしれない。でもそうやってがきて、 にしていく。 これによってではできなかったに、 アプローチすることができる。そういうふうにいます。 みなさんも、まずとにかくしてみる。 ことでもいいのでしてみる。 こういったものをはじめてみる。 それでなにかになればいいといます。 どうもありがとうございました。